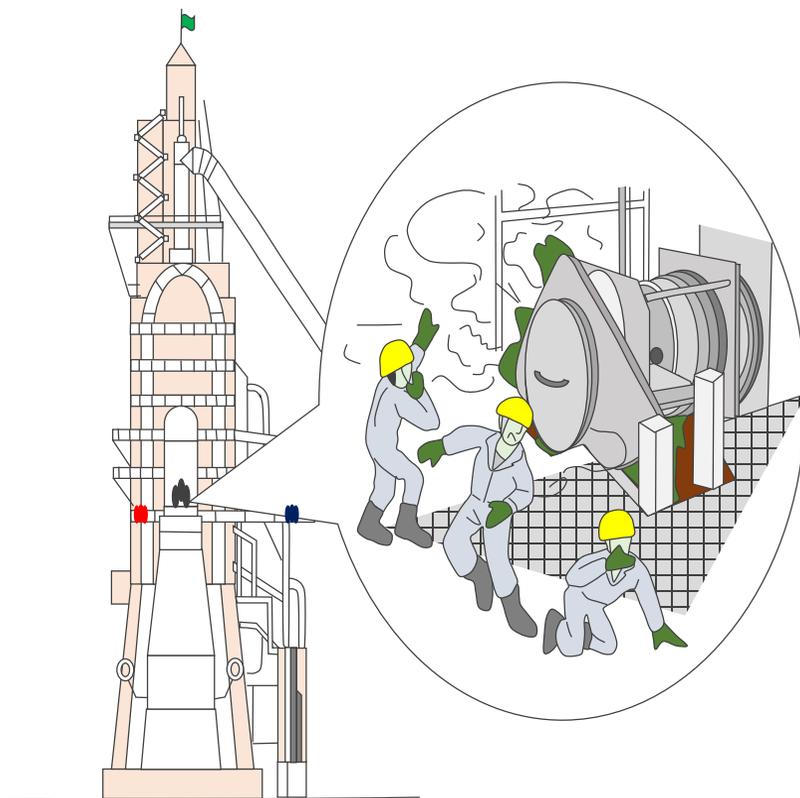


製鉄所高炉の計測装置のテスト中、炉内のCOガスが漏れ 多数が中毒



【発生場所】

製鉄所高炉の炉内

【被災原因】

電気室で主電源を入れ、現場の主回路スイッチを切り、計測装置の「前進」ボタンを押したところ、炉のガス圧で計測装置が後退。「停止ボタン」を押したので計測装置は一旦停止したが、次いで計測装置のアンテナの炉内へのパージボタンを押したところ、計測装置がさらに後退し、炉内ガスの漏洩を止めているボール弁からタイヤシール部を通じて炉内ガスが漏洩。

【被災状況】

操作盤の近く、及び離れてテストを見ていた者多数が炉内ガスを浴び一酸化炭素中毒。

【対策】からの抜粋

- [1] テスト作業の計画を明確に策定すること
- [4] 呼吸用保護具を使用させること



～理研計器からのご提案～

更に、作業者が一酸化炭素モニターを装着して作業することで、炉内ガス漏洩の早期発見と、作業者、及び、周囲に対して危険を知らせることができます